

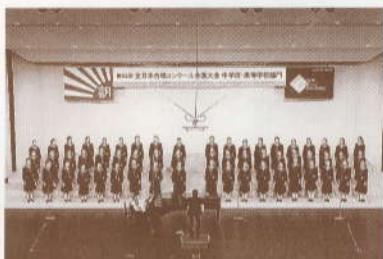
♪しめくりのコンサートは、数々の金賞に輝く全国トップクラス団体、夢の競演です。

## 1. 武庫川女子大学附属高等学校コーラス部【女声・兵庫】指揮：岡本尚子 ピアノ：市川麻里子

女声合唱曲集「木とともに人とともに」から 生きる(谷川俊太郎作詩・三善 晃作曲)

女声合唱曲集「うたをうたうとき」から 春(新川和江作詩・信長貴富作曲)

解説：『生きる』『生きて、ということ。今、生きて、ということ。それは・・・』私たち人間がどう生きていくべきかということ、世界に、そして私達に力強く訴える、心に響く歌。『春』まさに季節は春。植物の逞しい生命力を目の当たりにし、悲しみを乗り越え生きていこうと決意する心を素晴らしい詩と曲で表現された感動的な歌。



創部70年目。昨年は学院創立70周年記念で、ハンガリーのプロムシカとジョイントコンサートを行う。全日本合唱コンクールに2005年より連続5年金賞。うち香川県教育長賞受賞(2008) 同年NHK全国学校音楽コンクール全国大会に昨年5年ぶりに出場した。今まで招待を受け、6度の海外公演を行う。(アメリカ2回・オーストラリア2回・フィンランド1回・ハンガリー1回) その他国体の開会式式典・国民文化祭に参加。多くの招待演奏や地域社会でのチャリティーコンサートなどに参加している。昨年夏には本大学上甲子園キャンパスにおいて、皇太子殿下の御前での演奏を行った。



岡本尚子 (指揮者)

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。声楽を浦山弘三・田中智恵子に師事。2006年より武庫川女子大学附属中学校高等学校の音楽教諭・中高のコーラス部顧問として就任。合唱・合唱指揮法を本山秀毅・高嶋昌二、指揮法を齊田好男に学ぶ。



市川麻里子 (ピアノ)

武庫川女子大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。大学専攻科修了。同大学オープンカレッジ伴奏助手や同大学・附属中高コーラス部ピアニストや芦屋市民オペラの稽古ピアニストをはじめ幅広く活躍している。またアメリカ、ベルギー、ハンガリーへの演奏旅行に参加。大阪サミットコンクールにてデュオ奨励賞受賞。

## 2. Chœur Chêne【混声・奈良】指揮：上西一郎 ピアノ：浦 史子

Ave verum corpus (W.Byrd作曲)

Trauergesang (F.Aulerbach作詩・F.Mendelssohn作曲)

古の君へ(平元慎一郎・坂口愛美作詩・千原英喜作曲)

混声合唱とピアノのための組曲「雨二モマケズ」から 告別2(宮沢賢治作詩・千原英喜作曲)

解説：『Ave verum corpus』イギリス音楽の父といわれるバードの作品。この曲はラテン語による有名なモテテで和声的作風。『Trauergesang』メンデルスゾーンは、バッハの影響を受け古典への回帰傾向が認められロマン的な和声使いは抑えられている。『古の君へ』作詞の二人は当時奈良高校の生徒。県下の高校が作曲の授業に取り組んだ際の「課題」として作られた詩。奈良県高等学校選抜混声合唱団が初演。『告別2』賢治の代表作「告別」後半。才能を見出した生徒に対する別れの言葉が綴られ、音楽は優しさに溢れている。その純粋さの中に生の本質が垣間見られる。



1983年、主宰・音楽監督の上西一郎の呼び掛けにより奈良県立橿原高校合唱部の卒業生で結成。91年、OB・OG主体の合唱団から一般化を図り「クール・シェンヌ」に改称。フランス語でクールは「合唱」、シェンヌは「樺(かし)の木」を意味する。演奏曲はルネサンスから近現代まで幅広く扱っているが近年はドイツロマン派に傾注しつつ邦人作品にも意欲的に取り組んでいる。上質で明るく暖かい響きを大切にしており優美なメロディラインが持ち味。主な活動は演奏会・コンクール・招待演奏など。昨年の全日本合唱コンクールでは7年連続金賞と併せて北海道知事賞を受賞。6月に奈良で演奏会を開催します!



上西一郎 (指揮者)

奈良県出身。大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。声楽を横田浩和氏、指揮を松尾昌美氏に師事。クール・シェンヌ、アンサンブルテルミナ、OAKシンガーズ常任指揮者。全日本合唱コンクールではクール・シェンヌを率いて金賞7回、宝塚国際室内合唱コンクールでは6回入賞し02年OAKシンガーズを第1位に導く。



浦 史子 (ピアノ)

Profile:京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。在学中、第8回ピアノフェスティバル、学内リサイタルに出演。フランス ピアリッツ夏季セミナーにてG. Devezze氏に師事。ドイツ トリアー国際マイスタークルゼにてW. Manz氏に師事。横山理子・中山律子・名畑ゆかり・芝合子・矢部民の各氏に師事。



### 3. Vocal Ensemble 《EST》 【混声・三重】 指揮：向井正雄 ピアノ：長島あかね

Dolcissima mia vita (C.Gesualdo作曲)

無伴奏混声合唱のための「LIRICHE AMOROSE」から ...un bocciolo di loto é la mia bella・Mio dio, mio amato (鈴木輝昭作曲)

無伴奏混声合唱のための「詞華抄」から Eros d'etinaxe mo i phrenas (鈴木輝昭作曲)

合唱のためのコンポジション第10番「オンゴー・オーニ」から II (間宮芳生作曲)

!Que rico e! (G. L-Gavián作曲)

解説：ルネサンスの鬼才ジェザルドの「愛か死か?」と訴えかける激しい世俗曲『Dolcissima...』。現代日本を代表する鈴木輝昭氏の古代エジプトの「愛」の断片詩「リリケ・アモローゼ」より2曲、古代ギリシャのサッポーの詩を題材にした「襲い来る愛の情景」「詞華抄」より『II』、世界の「民族」を題材に作曲を続ける間宮芳生氏の「オンゴー・オーニ」より「畏れ」を描いたII、キューバの奔放な「愛」をマンボのリズムに乗せた『Que rico...』。そう、今回の《EST》は人間の根源的なものに迫ります。今日の演奏が時空を超越した強いものでありますよう・・・。



1992年結成。ルネサンス時代から現代までの作品を演奏し、国内だけでなく海外でのコンサート活動や各種コンクールへも参加。またCDの製作・リリース、少人数アンサンブル《EST》スコラズを結成しコンサートの開催なども行う。『第7回世界合唱シンポジウム』招待合唱団('05/京都)、『全日本合唱コンクール全国大会』金賞6回・文部科学大臣賞3回('03,'08,'09)、『宝塚国際室内合唱コンクール』総合1位('00,'05,'07)、『第54回国際ポリフォニックコンテスト・イン・アレツォ』ポリフォニー部門1位('06/イタリア)、『第38回フロリダジュ国際合唱コンクール』グランプリ(総合1位)・今年5月にブルガリアで開催される『ヨーロッパ国際合唱コンクール』出場権獲得('09/フランス)、『津市文化奨励賞('07)』三銀ふるさと三重文化賞('01)、『三重文化大賞('05)』受賞。



向井正雄 (指揮者)

ヴォーカルアンサンブル《EST》音楽監督・指揮者。第54回国際ポリフォニック・コンテスト(イタリア)にて「最優秀指揮者賞」を受賞。第7回マルクトオーバードルフ国際室内合唱コンペティション(ドイツ)にて「現代音楽解釈における最優秀指揮者賞」を受賞。Fritz ter Wey氏の指揮法講習(スペイン)を受ける。



長島あかね (ピアノ)

三重大学教育学部音楽科卒業、同大学院修了。第33回三重県器楽コンクールピアノ部門第3位。ウィーン国際夏期音楽ゼミナールにピアノで参加。V・トイフルマイヤーなどご師事。演奏会に参加('99,'05,'06)。声楽では宗教曲や第九などのソリストを務める。ピアノを大久保洋子・南川房子・杉山哲雄・高瀬瑠子・兼重直文の各氏に、声楽を確井士朗・弓場徹の各氏に師事。

### 4. 混声合唱団はもーるKOBE 【混声・兵庫】 指揮：岸本雅弘

Segalaliak (J.Elberdin作曲)

Ametsetan・Esta tierra (JBusto作曲)

解説：「Segaraliak」「Ametsetan」は、スペイン・バスク地方の村々での収穫祭を歌ったものです。勇壮なバスクの男達の競い合い、華やかな女達の折りやダンスなど、牧歌的な風景が鮮やかに彩られています。「Esta tierra」は、千年前からイスラム教徒とキリスト教徒との争いに翻弄されたスペイン・カステリヤ地方を歌ったものです。人々の平和を祈る声がかんたててくるようです。



しなやかでエレガンスなハーモニーを目指し、神戸を拠点に活動。今年で創立31年目、創立メンバーから大学生まで約70名の団員(平均年齢30歳)が、週一回の練習に集い、にぎやかに楽しく歌っています。毎年のコンクール・コンサートのほか、最近では学生合唱団との交歓演奏会や委嘱作品の初演、TOKYO CANTAT出演など活動の幅を広げ、今年はスペイン・トロサ国際合唱コンクールに出場します。今年のコンサートは、8月22日に兵庫県立芸術文化センターにて開催します。皆様のご来場をお待ちしています!

岸本雅弘 (指揮者)

学生時代より合唱指揮者としての研鑽を積み、平田勝・斉田好男・本山秀毅・藤井宏樹の各氏を師と仰ぐ。最近では、豊富な合唱経験と国内外の合唱指導者・作曲家とのネットワークを活かし、合唱振興のために、様々な企画を立案・運営している。混声合唱団はもーるKOBE指揮者、パナソニック合唱団副指揮者、合唱団La.Lu.La指揮者、合唱人集団「音楽樹」会員、「兵庫アンサンブルの会」代表幹事、兵庫県合唱連盟理事、パナソニック株式会社勤務。



5. 雨森文也と「水のいのち」を歌おう合唱団 指揮：雨森文也 ピアノ：平林知子

混声合唱組曲「水のいのち」から 雨・川・海よ(高野喜久雄作詩・高田三郎作曲)

次年度予告

日時：2011年4月16(土)・17(日)

場所：いずみホール(およびその周辺施設の利用を考えています)

講師：現在交渉中!!

本年度と同様、演奏会あり講習会ありワークショップ、交流会ありの盛りだくさんのイベントを考えています。実行委員会への参加も募集しています。

<http://chorusmesse2010.cocolog-nifty.com/blog/>

## アルティ声楽アンサンブルフェスティバル2010 ～ALVEF2010～

7回目となる、全国から集まったアンサンブルグループの競演!  
(ただ今、公募団体選考中!)

2010テーマ「伝えたいうた、残したいうた」

18日(日)松下 耕先生によるワークショップ&ゲスト演奏は<ENSEMBLE PLEIADE(男声)>!

19日(月祝)伊東恵司実行委員長によるワークショップ&「赤い鳥小鳥合唱団」演奏。

入場料

各日券：一般2,500(2,000)円

学生1,500(1,000)円

通し券：一般4,500(3,500)円

学生2,500(2,000)円

※()内は前売

2010年7月18日(日)・19日(月・祝)

午後3時開演予定

京都府立府民ホール“アルティ”

(地下鉄烏丸線「今出川駅」6番出口より5分)

お問い合わせは アルティ声楽アンサンブル実行委員会事務局  
京都府立府民ホールアルティ内 Tel.075-441-1414  
e-mail: hall@alti.org http://www.alti.org

主催：アルティ声楽アンサンブル実行委員会・(財)京都文化財団(予定)  
後援：(社)全日本合唱連盟・京都府合唱連盟

★公募合唱団員(女声)を募集します! ★7/19(月祝)一日だけの練習で、本日初演の「赤い鳥小鳥」を再演いたします。

指揮：伊東恵司 ピアノ：平林知子

スケジュール：7/19(月祝)午前中練習→ステージリハ12:30-13:30→本番18:00-18:30(予定)

参加料：19日券2,000円(学生は1,000円・二日間通し券でも可)購入+楽譜実費(1,470円。本日より購入できます。)

\*本日歌った方はもちろん、聴いてみて歌ってみたいと思った方、ぜひともご参加をお待ちしています！